

八王子市議会レポート

No.56 2012年8月15日

つくる、つくろう通信



陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属市民派 北野台在住



編集／発行：市民自治の会（陣内やすこ）

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://jinnai.ne.jp/

第2回定例議会報告

(2012年6月 日～6月 日)

介護保険制度の改正がありました。今回は保険料のアップと同時に利用料金も変更されました。つまり、保険料アップ(年額基準額50300円→58800円)、利用料の1割負担アップ、使えるサービス減、デイサービスの利用時間変更などというものです。そこで質問。

陣内:同じようなサービスを使い続けるために、どれくらいの負担増になったのか、試算しているか?

担当部長:まだ出していない。この後の検討。

介護保険の改正で混乱が続いています。デイサービスの時間が長くなったことで、疲れるという声も聞こえてきています。利用者主体のケアマネジメントの徹底が求められます。さらに、これからの、「在宅へ」という流れの中で、自治体として小規模多機能型施設やグループホームの拡充、そのための工夫が必要であるとともに、包括支援センターの質的向上のためにも、基幹型包括支援センターが必要と訴えましたが、副市長から、今の体制でやっていくとのつれない答弁でした。

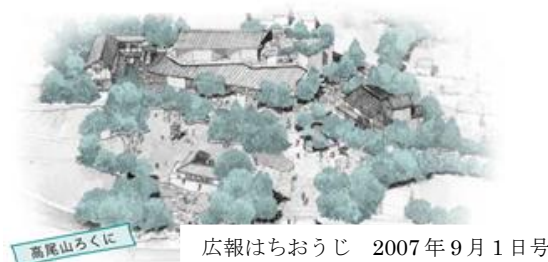
さらに充実!! ネットで情報発信

ブログ <http://jinnai.ne.jp>

遅ればせながら..

高尾自然科学博物館建設問題。

東京都から無償譲渡された旧博物館の新設問題が難航しています。観光色が濃いものになろうとしている。待った! 東京都からの条件は、博物館機能を存続させることです。子どもたちが自然に触れ、興味をもてるような施設にすべきです。そのためには、奥行きのある本物の展示、専門家の配置が必要です。今後、専門業者を選考し、しっかりとした展示内容を持つ施設にするとのこと。教育委員会もしっかりと計画に絡んでほしいものです。



広報はちおうじ 2007年9月1日号

震災がれきの広域処理受け入れ。

震災がれき量の減、地元処理の拡大などから、広域処理の必要性について質問しました。ゼネコンが暗躍している情報あり。

八王子駅北口 マルベリーブリッジを延伸

第2弾

待った!



▲完成予想図。□内が延伸部分 広報はちおうじ 2012.3.1

8月7日。市議8名で、市長に計画の見直しの申し入れをしました。私たちは3度の調査で、京王プラザ前の交差点の安全は信号機設置で担保できることがわかりました。警察関係者も立ち会っての調査でした。そのことから、見直しの要請、ならびに工事発注をしないことを求めました。

市長は不在。副市長が対応しました。残念ながら、十分な理解が得られなかった会見でした。

その一方で、入札が実施されていました。受注業者に、なんと、この事業を計画した前黒須市長の親族会社が名を連ねています。第3回定例議会の議案となることと思われま。しっかりと議会で議論しなければなりません。

高齢者に優しいまちとは・・・

八王子駅南口と北口を結ぶバス路線の廃止が問題になっていますが、地元北野台でもバス路線の変更で、高齢者の方々から「困った」という声が多く届いています。

京王電鉄バス会社にいってきました。実際にどんなことでこまっているのか、当事者の方からお話しいただき、バス会社の担当者の方に検討をお願いしました。バス会社も公共交通とはいえ、私的企業。採算の問題もあるので、簡単にはいかないでしょうが、どうすれば両者にとって、いい方法なのかをともに考えていきたいものです。

私たちは忘れない！ 福島支援

絶対に許せない大飯原発再稼働の中で、脱原発の声は日に日に大きくなっています。7月29日の国会前キャンドルデモには、20万人近くの人が集まり、脱原発の意思表示をしました。私もその中にいました。福島原発事故は収束していない。復興予算は半分近くも使われていない。除染、がれき広域処理に大きな予算が動いている。

しかし、人々の生活はなんら変わっていない。福島の人々が3・11以前にあった日常をとり戻すまで、私たちは忘れない。出来るだけの支援を。

《その1》

7月15日、第2回福島避難子ども健康相談会が実施されました。生活相談、法律相談など、その悩みは健康問題に限られず、多岐にわたるものとなってきました。東京都の後援もあり、これからも継続的に相談会を実施していくことが確認されました。

《その2》

福島子ども支援・八王子主催による、福島の子どものための保養キャンプが、8月6日～9日、町田市にある大地沢青少年センターで、実施されました。のびのびと野原を駆け回り、自転車の練習をし、川でザリガニ採りに興じた、3日間でした。ママたちも放射能を心配しないで、外遊びさせられることで、リラックスです。また、やります。